

小型ペットボトル空気砲 Ver3.0

改善点

- ① 通常のペットボトル（500mL）で製作した空気砲は、小学校低学年の児童には大きくて扱いにくいいため、小型のペットボトル（112mL）で製作した。
- ② Ver2までは、風船の吹口を切ってペットボトルにはめたが、風船の先端がつまみにくかった。そこで、風船の頭を切りペットボトルにはめ、吹口を縛って持ち手とした。

1. はじめに

- ・本空気砲の特徴は、小型のため小学校低学年の児童でも扱いやすい大きさである。また、ペットボトルの中の空気が、飲み口から一気に飛び出し遠くまで届く。



2. 準備

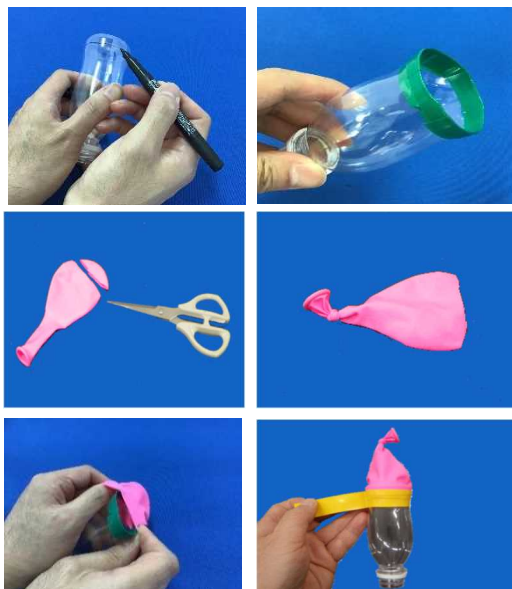
- ・小型の空のペットボトル（112mL）※乳酸菌飲料用
- ・ハサミ
- ・カッター
- ・ビニルテープ
- ・ゴム風船（標準サイズ）
- ・スポンジたわし（緩衝材の玉も可）

3. 作り方

<空気砲>

- ① ペットボトルを底から1cmくらいのところで切る（飲み口側を使う）。
- ② ペットボトルの切り口で風船が破れないようにビニルテープを半分の幅の位置で巻く。外側に出たビニルテープは内側に曲げる。
- ③ 風船の先端から1.5cm程度のところで切る。
- ④ 吹き口を結ぶ。
- ⑤ 切った風船をペットボトルにかぶせる。
- ⑥ ビニルテープを引っ張りながらしっかり巻いて風船を固定する。

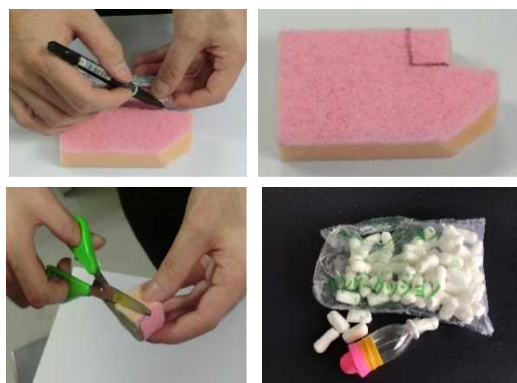
【本体完成】



<スポンジ玉>

- ① スポンジたわしに四角（2cm×2cmの大きさ）の線を引く。
- ② 線に沿って、四角に切る。
- ③ 切った四角のスポンジを、ペットボトルに入れやすいように角の部分を切る。切りすぎないように少しずつ小さく切る。

【スポンジ玉完成】



※スポンジ玉の代わりに緩衝材の玉を利用することもできる。

4. 遊び方と留意点

- ・風船を軽く引き、手を放すとペットボトルの飲み口からスポンジ玉が勢いよく飛び出す。このとき、飲み口を人に向けない注意する。
- ・風船が破れないように、つめでひっかけたり、引き過ぎたりしない。